

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
1 市民生活の今後の安心について（40分） 私たちの日常生活において、地域住民の「安心」は様々な要素によって成り立っています。犯罪や自然災害、環境問題、経済的な安定、医療体制の整備、そしてコミュニティのつながりや生活のし易さなど、さまざまな側面が影響を及ぼし合い、私たちの日々の生活に安心感をもたらしています。しかし、これらの要素は一つでも崩れると地域住民の不安が高まり、生活の質に大きな影響を与えることになります。 近年、都市部だけでなく地方でも犯罪が多様化し、市民が自分や家族を守るために防犯対策を意識することが不可欠となっています。安心して暮らせる環境を整えるためには、防犯意識を持つだけでなく、適切な防犯対策を講じることが大切です。安全安心で住みやすい街づくりのためには、地域ぐるみで防犯に取り組む必要があります。しかし、人口の高齢化や自治会や地域コミュニティの希薄化により、活動が維持しづらくなっている地域も見受けられ、地域での防犯対策に課題などもあるのではと懸念されます。 このような中、特殊詐欺犯罪や自転車の盗難被害、最近では空き巣や住宅強盗による被害に遭われた方もおります。特殊詐欺犯罪においては、手口が巧妙化し依然高齢者が被害に遭われております。そして住宅強盗に関しては、市民にとって大きな不安要素であり、金銭的な被害だけではなく、心身の安全も脅かすため、各家庭でも防犯対策の必要性が高まっています。 また、日常生活における市民の安心・安全な移動を実現するために非常に重要です。 そして地域社会の交通意識が高まることで、こどもから高齢者までが安全に移動できるようになり、本市にとっても住みやすい街づくりが促進されると考えます。以上、本市として今後、安心して暮らせるまちづくりをどのように発展させていくのか、以下質問いたします。	市長 教育委員会教育長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
（１） 防犯対策について ア 空き巣や住宅強盗について （ア）本市の空き巣及び住宅強盗の現状は （イ）市民との情報共有と市民への周知について イ 特殊詐欺犯罪について （ア）本市の特殊詐欺事件の現状と所見は （イ）今後の高齢者増加に伴う本市の取組は ウ 防犯カメラ設置について （ア）街頭防犯カメラに関するアンケート調査結果の見解は （イ）本市の今後の防犯カメラ設置の将来像について エ 埼玉県防犯環境整備推進補助金の今後の活用は （２）交通安全対策について ア 高齢ドライバーについて （ア）運転免許証返納に関する啓発について （イ）返納後の快適便利な移動手段の支援は イ 自転車の安全な乗り方について （ア）改正道路交通法の施行を受けての本市の対応は （イ）自転車利用者の自転車保険加入促進について （ウ）ヘルメット着用に向けた本市の取組は	

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
2 職員とともに「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」を実現していくために（20分） 本市の第6次総合計画は、「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」が市の将来像です。本市が「しあわせ」となるには、市民だけではなく、本市の職員が「しあわせ」であることも重要と考えます。 市の職員の皆様には、日頃から台風などの災害が発生した際には昼夜を問わず、市民のために対応をいただいていること、また、市の業務のほかに消防団、PTA、自治会などに加入し、役職なども積極的に引き受けていただいている状況であり、市民を代表して感謝いたします。 令和6年6月11日付けの埼玉新聞において、2022年の戸田市職員の早期退職者数がここ10年で最多となったこと、職員アンケートのうち「今の職場で不満に感じる部分」を尋ねた質問では「待遇・給与面」との答えが4割超で最も多く、以下、「労働時間・超過勤務等」、「仕事内容・やりがい」の順となり、「満足に感じる部分」では「人間関係・同僚・部下」が最多となり、以下、「人間関係・上司」と続き、良好な人間関係で働くことに満足しながらも、給与等待遇に不満を持つ職員が多いことが示されました。また、戸田市の担当者は「近隣に給与面で本市より待遇のいい自治体もあり、人材流出の一因となっている可能性がある」と答弁されております。このような事例を受けて本市においても同様の課題があるのではないかと考え本市の職員における給与等の待遇や福利厚生等についてお伺いします。 （1）本市職員の強み及び職員に期待することとは （2）本市職員に対するアンケートの実施状況について （3）本市のラスパイレス指数が職員募集に与える影響は （4）地域手当率が都道府県単位に変更となる影響について （5）本市職員の休暇制度の現状及び妥当性について	市長